

32ページ増の特大号 3シリーズカスタム大研究!!

BMW 2017 MAGAZINE



メディアパルムック



ボディはさらに大きく、逆に重量は最大100kg減!!

新型5series誕生

Mモデル生粋のスポーツ性能で人気大爆発中!!

M2×RS3乗り比べ



E36/E46/E90/F30 のドレスアップ術を車種ごとに徹底解説!!

カスタム&チューン 3series

エクステリア編・インテリア編・チューニング編・ホイール編

BMW PARTS CATALOG 850



» EVO i8

ノーマルのi8では物足りなさを感じていたオーナーによるオーダーで完成したコンプリート車。カーボンエディション1仕様に、BBS×ENERGY FORGED CONCAVE21ホイールと、スペシャルサイドデカールをミックス。

BMW
DEMOCAR
Collection
2017

ENERGY MOTOR SPORT
エナジーモータースポーツ

EVO i8

「エナジーコンプリート」は
スタイル、性能にも妥協しない

SHOP DATA

ガレージ エブリン(大阪店)
大阪府松原市立部2丁目291-1
tel.0723-39-1760 fax.0723-39-1761
営業時間:9:30~19:00
定休日:無休(お盆・年末年始を除く)
<http://www.everyn.com>

» EVO i8 CYBeR eDITION

マットシルバーのラッピング仕上げはP.G.Dの施工。インテリアのレザーリア仕上げはニューラインが行っている。ボディカラーのおかげでシヤープなラインがはっきりわかる。

発売直後のi3をベースに衝撃的なコンプリートカーを造り、国内だけではなく世界中で話題となったエナジーモータースポーツ。そんな有名ブランドが、今度はi8のコンプリートカーで人気をさらっている。

2016年の東京オートサロンへ足を運んだ方であれば、サイバーマットクロームのド派手なi8に見覚えがあるはず。それがエナジモータースポーツが造ったEVO-i8サイバーエディションだ。流麗な曲線を組み合わせた造形を持つオリジナル・ボディキットにBBSとのコラボから生まれたオリジナル鍛造21インチホイールをセット。インテリアに至っても、カーボンとレッドレザーでスーパースポーツに相応しいスタイル

ルにコーディーネートされている。そのスタイルをベースとしているのが、白のi8。オリジナル・ボディキットを装備したコンプリートカートを登場したものだが、各バージョン単体のみでの入手もできるのがうれしいところだ。オンラインのスタイルを求めるのなら外せない注目のボディキットだ。

EVO i8

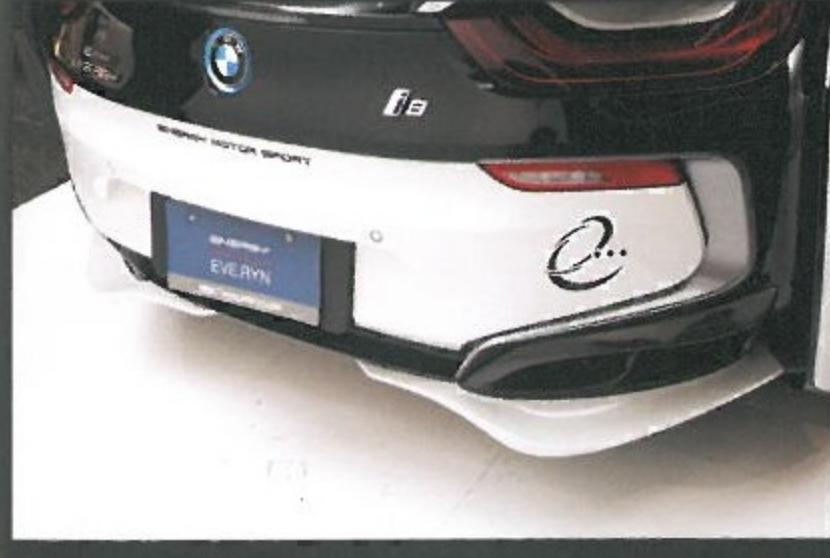
ノーマルのスッキリした感じから一変、はっきりとした存在感を主張。とくにフロントバンパーのフォーミュラカーのウイングを見せる形状は、クールだ。



ホイールは、ブルーディスクが際立つ「エナジーアンディビジュアルTYPE4/21アルミ」をセット。深さが迫力を、シャープさがスポーツ性を見せてくれる。



前後のフェンダーはセット販売。大型のダクトがルックス上での迫力をもたらす。仕上げのクオリティも高い。



リアバンパーの左右にセットされるフラッパーは、リアタイヤの乱流制御と底面を流れてきた空気の整流という、ふたつの効果が期待できるアイテム。



よりシャープな形状となるミラーカバーは、写真のカーボンエディションのほかFRP製もラインアップ。そちらならボディ同色化という手法もあり。

EVO i8 カーボンエディション1仕様のフルコンプリート車両も登場



フロントバンパーは、ボディ底面への空気の導入とサイド方向への流れを考慮したものだが、カーボンとの混合デザインでフォーミュラカーのウイングを見せてくれる。

そこでは、美しい独自デザインのパーツをそれぞれに見ていく。構成はフロントバンパーとダクト付オーバーフェンダー、リアフランジャー、ドアミラーカバーなどといったもの。それにカーボンエディションとスタンダード・エディションが用意される。

そのポイントとなるのは、コストを度外視して造形されたシャープなラインにある。ちょっとわかる人なら気付くと思うが、このカタチをエアロパーツとしてモノにするのは、とてもない手間がかかる。そうした手間をかけてまでも貫き通したデザインは、それがi8のスポーツイメージを高めるうえで、必要となる造形との判断があつたからだ。



ボディに沿って流れてきた空気をここで剥離させるため、ダブルウイング化を実現。FRP製でカラーチェンジするのもおもしろそう。

spec » EVO i8 エアロパーツ

■ EVO i8 ボディキット	カーボンエディション (CFRP仕様リアウイング)	158万円 / FRP仕様 148万円
■ EVO i8 ボディキット	スタンダードエディション	108万円
■ フロントバンパークリッパー	カーボンエディション (2ピース構成 / 専用ネット付)	48万円 / スタンダードエディション 38万円
■ ダクト付オーバーフェンダー	カーボンエディション (前後セット)	48万円 / スタンダードエディション 38万円
■ リアフランジャー	カーボンエディション (左右セット / 専用ネット付)	26万円 / スタンダードエディション 18万円
■ リアウイング	カーボンエディション (左右セット)	28万円 / スタンダードエディション 18万円
■ デザインミラーカバー	カーボンエディション (左右セット)	12万円 / スタンダードエディション 6万円

※価格はすべて税別

問:ガレージエブリン

(世田谷店)TEL:03-3707-3800、(大阪店)TEL:072-339-1760 <http://www.everyn.com> <http://www.energy-ms.jp>

エナジーモータースポーツ

ENERGY MOTOR SPORT



F01

スタイルで示す、オトナの余裕と上品さ



■ PARTS LIST EVO01.1/02.1

EVO01.1/02.1 ボディキット ※ショート or ロングを選択:78万円、フロントバンパーキット（フロントバンパー / クロームメッキカバー / 専用ネット）:34万円、サイドスポイラー（左右セット）※ショート or ロングを選択:22万円、リアアンダースポイラーキット（リアアンダースポイラー / クロームメッキカバー）※前期 or 後期を選択:20万円、トランクspoiler:8万円、エナジー MS ステンレスマフラーカッター（F01/02）オーバルデザイン（左右セット）:12万円 ※価格は税別



最新作であるi8のコンプリートカーが話題を呼んでいるエナジーモータースポーツが、余裕を持ったオトナのためにつくった7シリーズがこれだ。このクルマも当然のことながらコンプリート状態での販売が基本となるが、ボディキットとしての販売のほか、パーツ単品でも購入できる。

ポイントとして挙げられるのはフロントバンパー開口部とマフラー部に施されたメッキ処理。これが強い存在感を表現してくれるので、たとえば車高がノーマル、ホイールも純正品状態であっても、十分以上の力強さと高級感を見せつけることができるのだ。